

## 目次

### センターからのお知らせ

- 研修申込みありがとうございます！・・・・・・・・・・1
- 平成28年度総合教育センター研修のポイント・・2
- 校内研修支援メニューのご案内・・・・・・・・・・2

### 教科教育部より

- ねえ、学力って何？教えて！⑩・・・・・・・・・・3

## 研修申込みありがとうございます！

### ☆研修申込について

これまでに延べ5700名を超えるお申し込みをいただきました。多数のお申し込みありがとうございました。

### ☆希望研修の受講決定について

5月26日（木）以降に通知する「学校別受講決定通知書」でご確認ください。

### ☆追加募集する研修講座について

決定者通知書とともに学校に通知するほか、当センターのホームページにも掲載します。



# 平成28年度総合教育センター研修のポイント

## 研修事業

### アクティブにつなぐ研修講座


教員をアクティブに、子どもをアクティブに  
総合教育センターがつなぐ

#### 教員がアクティブになる授業づくりを提案

- ◆教師力の向上を図り、学校力・学力の向上へつなげ、子どもをアクティブにします
- ◆生きる力を育み、各教科におけるつけるべき力をつける教員をめざします
- ◆特別支援教育の視点を生かした授業のユニバーサルデザイン化を提案します
- ◆演習・実習・少人数協議により教員同士をつなげます
- ◆喫緊の教育課題に対応する豊富な研修講座群

アクティブに！

#### 学校のニーズに応える希望研修講座

- ◆学校力・学力の向上を目指す研修講座群の充実
- ◆郷土、信州から学び・伝承する  講座に「信州体験マーク」
- ◆参加しやすい土曜講座の開講（7/2、11/19）

新設講座  
多数開設

土曜  
9講座

#### 帰校後のICT活用をサポート

- ◆すぐに使えるものから最新の利活用まで体験から実感・納得へとつなぎます
- ◆帰校後のICTの活用につながる講座に「ICT活用マーク」

ICT活用

#### ライフステージに応じて総合的な教師力の向上をめざす指定研修

- ◆人間力を向上するために「学び続ける教師」を支援
- ◆「教員相互の協働性」を高めるネットワークを構築

## 総合教育センターの校内研修支援

1年間  
いつでも  
受付中

研修講座の繁忙期は  
お受けできない  
場合があります

全職員や  
教科会など  
学校ニーズに  
対応

少人数でも、近隣校との  
合同でも

選べる  
便利な  
メニュー表

メニューの  
のほかに  
対応できます

研修費・  
旅費は  
原則無料

一部 材料費等を  
実費負担いただく  
場合があります

**センター専門主事が学校に出向き支援いたします**



専門的な最新情報が得られる教職員の研修を、放課後の学校等で、手軽に開くことができます。今年の研修計画の一つに、センターの校内研修支援をぜひどうぞご利用ください。

# ねえ、学力って何？教えて！⑩



トモニ先生

子どもたちは調理や製作が大好きで、とても意欲的に取り組むのですが、はたしてそれぞれの実習の中で子どもにつける力がついているのか不安です。



ミガコ先生

私は、子どもが学んだことや身に付けたことを生活に生かす意欲が高まるようにするにはどうしたらよいか悩んでいます。家庭科の授業ではどんな力を付けていけばよいのでしょうか。



つなぐ先生

トモニ先生やミガコ先生が家庭科の授業づくりで大切にしていることは何ですか。

僕は実習や製作などの学習活動を通して、知識や技能が定着するようにしています。でも、子どもは決まったとおりに作って完成させるだけの授業になってしまっている気がします。



私は、実習や製作などの学習活動でも話し合うことができるだけ取り入れるようにしていますが、話し合いをすることが目的になってしまっている感じがします。



トモニ先生やミガコ先生が指摘していることは、子どもが基礎的・基本的な知識・技能を身に付けたり、主体的な学習に取り組む態度を育んだりすることにつながっていきます。さらに、子どもが身に付けた知識や技能を活用して課題を解決していくためには、言語活動を充実させながら思考力・判断力・表現力を育てていくことが大切です。

なるほど！では、家庭科の授業で具体的にどのようにしていけばよいのでしょうか。



衣食住に関する実習や製作等と子どもたちの生活を関連付けて考えさせることが大切です。例えば調理の実習では自分の考えを献立表などの図表に表し、それらを使って解決が図られるペアやグループによる学習を位置づけて、思考力・判断力・表現力が高まるようにしていきます。そうすることで、ねらいの達成につながります。

家庭科・家庭分野では、実習や製作が目的ではありません。つける力を明確にし、実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的・基本的な知識や技術を習得し、仕事の楽しさや完成の喜びを体得できるようにしていきましょう。また、問題解決的な学習を充実させ、子どもが学んだ知識や技術を生活に活用できるようにしていきましょう。

## 家庭科 技術・家庭科 家庭分野 編